

2011年度 日本ヨットマッチレース協会  
定時総会議事録

2012/02/19（日）16:00～17:45  
葉山新港 B会議室にて

議事進行

- 1) 定足数の確認
- 2) JYMA会長挨拶と  
2011年度活動報告と2012年度活動方針  
戸谷 会長
- 3) 2011年度会計報告  
田代 理事
- 4) 2012年度JYMAイベントスケジュールと概要  
横山 理事
- 5) 2012年度会計報告  
田代 理事
- 6) その他、報告～連絡事項
  - \*会員証発行の廃止
  - \*国内標準スタートスキームの変更
  - \*学生対抗マッチの案内
- 7) 2012年度JYMA理事の選任  
5)～6)は、議長が進行

## 1) 定足数の確認

### 2011年度 スキッパー会員リスト (順不同)

1	田中 正昭	11	藤井 麗
2	霜山 純夫	12	加藤 琢也
3	戸谷 寿男	13	一木 正治
4	荒川 友紀彦	14	中野 誠
5	白山 陽一	15	浜崎 栄一郎
6	今津 浩平	16	本吉 夏樹
7	佐藤 麻衣子	17	紙 麻里亜
8	今井 信行	18	村越 俊介
9	長堀 裕樹		
10	堤 智章		

= 総会定足数 06

## 委任状

- ①荒川友紀彦
- ②加藤琢也
- ③一木正治
- ④佐藤麻衣子
- ⑤今井信行
- ⑥田中正昭

## 出席者 (◎は、スキッパー会員)

- ◎戸谷壽男
- ◎長堀裕樹
- ◎村越俊介
- ◎本吉夏樹
- ◎今津浩平
- 横山 浩
- 田代和史
- 松石万希子

委任状 6 + 出席者 5 = 11名  
→ 総会成立

## 2) 2011年度 活動報告 (戸谷壽男)

### ■ JYMA公式戦

- 4/ 4-10 くるる アジアパシフィック 東日本大震災のため中止
- 5/28-29 二宮杯 参加6
- 7/23 全日本女子 女子3 男子1
- 9/ 3- 4 南波メモリアル 日産M東海 台風のため中止
- 10/22-23 オータムM南伊勢 参加6 新人加藤琢也
- 11/18-20 全日本 9 韓国からPark 選手が参加
- 12/17-18 Xmasマッチ 7 長堀由香が久々に参戦

### ■ NST-MR

- 8レース予定、成立4
- 荒天による中止 1
- 参加チーム不足で中止 3
- \*クルーがスキッパーで参加 日根野、磯谷

### ■ 特別企画

- 6/18 Peter Gilmourのレクチャー開催 (横浜)

2010年アジア大会が終わり、選手たちの活動目標が変化したこと、また、震災の影響もあってマッチへの参加者が減少し、低調な1年に終わった。

さらに、借用した運営艇を管理不行き届きによって大破してしまい、JYMA資金の大半をその弁償に充てなければならなくなった。この点は深く反省し、今後は大会期間中の役割をしっかりと決めるなどの管理体制を見直すことが必要である。

## 2012年活動方針(戸谷壽男)

**【1】2014年のアジア大会(韓国・インチョン)2連覇へ向けて、選手強化と層の拡大を図る。  
2年先のことはあるが、来るべき本番に確実に間に合わせるべく  
今年からきちんとしたロードマップを描いていく。**

### **【2】財務内容の再強化**

低資金からの再スタートとなった。協会の資金は会員の会費が原資となるので、魅力ある活動により会員数の増大を図ることも急務である。  
また、スポンサーの獲得に向けて尽力し、他の団体やJSAFなどとのコラボレーションを強化していく。

**【1】について、具体的には**



## 2012年活動方針(戸谷壽男)

**【1】2014年のアジア大会(韓国・インチョン)2連覇へ向けて、選手強化と層の拡大を図る。**  
2年先のことはあるが、来るべき本番に確実に間に合わせるべく  
今年からきちんとしたロードマップを描いていく。

### ①ユース層の拡大

最大の課題は底辺の拡大。特にユース層の拡大は急務。

＝新たな若い力を育成していくことは急務である。

注目をあびている3月開催の学生マッチ、U25マッチを活用して、キールボート委員会とも連携してユースを盛り上げる。

“World University Championship Match Racing 2012”へ、招待2チーム

“Warren Jones”からの招待を有効に活用したい。

### ②海外レースへ参戦のチャンスの拡大

現在、日本へ招待が来ると思われるマッチレースは以下の通り。

コリアマッチ予選、プサン女子マッチ、セブンフィート、モンズーンカップ予選、ワーレンジョーンズ。これらのイベントに確実に選手を送り込みたい。

とくに若い選手にはJYMAとしてバックアップする体制を作る。

他にも多くのイベントがあるので、効果的に情報を配信できるようにする。

### ③レース運営の見直し

国際標準に沿った大会の運営

レース運営の安全体制の強化

単なるイベントに終わらず、スキルアップもできるレースを企画

3) JYMA2011年度 収支報告書 (会計年度2011.1.1. ~2011.12.31)

①前期末口座残高 (2010/12/31)	¥3,055,766
②前年度事業 (2010年分) 未払い	¥341,385
③前年度 (2010年) 繰越金額 (①-②)	¥2,714,381
④今期 (2011年) 収支	¥-2,208,754
<u>⑤次期繰越金</u>	<u>¥505,627</u>

→ 承認

#### 4) 公式戦、NST MR 及び その他イベントスケジュール

※最終的な決定は、各レースイベントのNoRが優先します。

イベント名	開催日程	JYMA グレード	ISAF グレード	運営母体	開催場所	最大参加 選手数
B級ジャッジ講習会	2/11(土)	-	-	愛知県連, JYMA	名古屋	-
大学対抗マッチ	3/10(土)~11(日)	1.2	4	JYMA, 日産M東海	日産M東海	9
NST MR1	3/31(土)	0.9	5	NST	葉山	6
くるるマッチ	4/7(土)~8(日)	1.5	4	JYMA, HMYC	葉山	10
NST MR2	4/28(土)	0.9	5	NST	葉山	6
NST MR3	5/12(土)	0.9	5	NST	葉山	6
二宮杯	6/2(土)~3(日)	1.5	4	JYMA, 志摩YH	志摩YH	10
NST MR4	6/16(土)	0.9	5	NST	葉山	6
南波誠メモリアル兼全日本女子マッチ	7/7(土)~8(日)	1.5	4	JYMA, 日産M東海	日産M東海	10
NST MR5	8/18(土)	0.9	5	NST	葉山	6
NST MR6	9/8(土)	0.9	5	NST	葉山	6
NST MR7	10/13(土)	0.9	5	NST	葉山	6
オータムマッチ	10/27(土)~28(日)	1.5	4	JYMA, 志摩YH	志摩YH	10
NST MR8ユースマッチ	11/10(土)	0.9	5	NST	葉山	6
全日本マッチ	11/23(金)~25(日)	2.0	3	JYMA	葉山	10
クリスマスマッチ	12/15(土)~16(日)	1.5	4	JYMA	葉山	12
大学対抗マッチ	2013/3/9(土)~10(日)	1.2	4	JYMA, 日産M東海	日産M東海	-
2013全日本マッチ	2013/11/22(金)~ 24(日)	2.0	3	JYMA	葉山	-

## 各レースイベントの招待基準

※最終的な決定は、各レースイベントのNoRが優先します。

### 1)くるるマッチ in 葉山(全10枠)

- ①～④2011年全日本マッチの上位 4選手
- ⑤～⑧2012年1月1日現在のJYMAランキング上位4選手(①～④を除く)
- ⑨～⑩会長推薦枠 2選手

### 2)二宮杯 in 南伊勢(全10枠)

- ①～④2012年4月1日現在のJYMAランキング上位4選手
- ⑤⑥ 志摩YH推薦枠 2選手
- ⑦⑧ 女子スキッパー優先枠 2選手
- ⑨ HMYC推薦枠 1選手
- ⑩ 会長推薦枠 1選手

### 3)南波誠メモリアルマッチ 兼 全日本女子マッチ in 東海(全10枠)

- ①～⑤2012年5月1日現在のJYMAランキング上位5選手
- ⑥ 日産マリーナ東海推薦枠 1選手
- ⑦～⑩JYMA会長推薦枠 4選手

**4)オータムマッチ in 南伊勢(全10枠)**

①～⑦2012年8月1日現在のJYMAランキング上位7選手

⑧⑨ 志摩YH推薦枠 2選手

⑩ JYMA会長推薦枠 1選手

**5)クリスマスマッチ in 葉山(全12枠)**

①～⑧2012年10月1日現在のJYMAランキング上位8選手

⑨⑩ HMYC推薦枠 2選手

⑪⑫ JYMA会長推薦枠 2選手

6) 全日本マッチレース選手権 (全10枠)

- ① くるるマッチの上位 1選手
- ② 二宮杯の上位 1選手
- ③ 全日本女子マッチの上位 1選手
- ④ 南波誠メモリアルマッチの上位 1選手
- ⑤ NST MRシリーズの上位 1選手 (2012年10月13日に確定予定)
- ⑥ オータムマッチの上位 1選手
- ⑦ 葉山マリーナヨットクラブ代表選手1選手
- ⑧⑨ 2012年10月1日付JYMAランキングの上位2選手 (①～⑦を除く)

※女子の選手が全日本女子マッチ含む2大会以上で権利を取得した場合は、全日本女子マッチで取得した権利を優先する。

※1人の選手が2大会以上で権利を取得した場合は、先の大会で取得した権利を優先する。

※大会に正式エントリーした後の出場辞退によって発生した出場枠は、2012年11月1日付JYMAランキング上位者に順次付与する。

- ⑩ 残りの1枠は、JYMA会長の選出による、国内外選手の推薦、招待枠とする。

**7)2013年 くるるアジアパシフィックマッチ(全10枠)**

①～④2012年全日本マッチの上位 4選手

⑤ 2013年1月1日付JYMAランキングの上位1選手(①～④を除く)

⑥～⑩海外招待枠 5選手

※開催日程の想定は、春期(4月の可能性も有り)。

※国際マッチレースになるのかは未定だが、そうなった場合を想定して上記の招待基準を予め決定しておく。

**8)2013年 大学対抗マッチ(全8枠)**

招待基準は、2012年と同様の予定。

但し、初回の大会を踏まえ変更もある。

**9)2013年 全日本マッチ**

招待基準は、未定。

**10)NSTシリーズ(毎回 全6枠)**

大会開催時点でのJYMAランキング7位以下の選手で、申し込みの先着順。

→ 以上、承認

## 5) JYMA2012年度予算 (会計年度2012.1.1.~2012.12.31)

【収入の部】				
科目	2011年実績	予算	差異	備考
[会費収入]				
スキッパー年会費	¥360,000	¥500,000	¥140,000	18名→25名
クルー年会費	¥440,000	¥600,000	¥160,000	44名→60名
ユース年会費	¥7,000	¥40,000	¥33,000	7名→40名
賛助会員費	¥5,000	¥5,000	¥0	
[雑収入]			¥0	
受取り利息	¥514	¥100	¥-414	
その他	¥1,600	¥1,600	¥0	NST無線使用料
[事業収入]			¥0	
学生マッチ	¥0	¥1,400,000	¥1,400,000	9チーム
スプリングマッチ・くるる	¥0	¥935,000	¥935,000	10チーム
二宮杯	¥6,000	¥0	¥-6,000	
南波メモリアル・全日本女子	¥60,000	¥735,000	¥675,000	10チーム
オータムマッチ	¥42,000	¥0	¥-42,000	
全日本マッチ	¥1,277,000	¥1,350,000	¥73,000	10チーム
クリスマスマッチ	¥872,000	¥870,000	¥-2,000	12チーム
当期収入合計		¥6,436,700		
前期繰越額		¥505,627		
合計		¥6,942,327		

【支出の部】				
科目	2011年実績	予算	差異	備考
[負担金]				
JSAF加盟団体負担金	¥50,000	¥50,000	¥0	
[会議費]				
総会・理事会開催	¥214,515	¥200,000	¥-14,515	
[通信費]				
無線電波使用量	¥3,200	¥3,200	¥0	NSTと折半
会員書発行費	¥6,400	¥0	¥-6,400	
HPサーバ費・更新費	¥89,500	¥120,000	¥30,500	
[その他]				
備品購入・消耗品費	¥97,230	¥50,000	¥-47,230	
慶弔費	¥55,750	¥50,000	¥-5,750	
ネットバンク管理費・振込手数料	¥47,460	¥50,000	¥2,540	
[広報宣伝]				
広報・宣伝戦略費	¥0	¥50,000	¥50,000	
[強化費]				
海外派遣支援金(一般)	¥0	¥0	¥0	
海外派遣支援金(ユース)	¥0	¥100,000	¥100,000	
大会準備費	¥222,545	¥200,000	¥-22,545	
[雑費]				
雑費	¥13,520	¥43,500	¥29,980	
[事業支出]				
学生マッチ	¥0	¥1,500,000	¥1,500,000	
スプリングマッチ・くるる	¥0	¥955,000	¥955,000	
二宮杯	¥19,320	¥20,000	¥680	
南波メモリアルマッチ・全日本女子	¥59,722	¥755,000	¥695,278	
オータムマッチ	¥18,560	¥20,000	¥1,440	
全日本マッチ	¥1,477,603	¥1,400,000	¥-77,603	
クリスマスマッチ	¥819,183	¥870,000	¥50,817	
当期支出合計		¥6,436,700		
次期繰越額		¥505,627		
合計		¥6,942,327		
単年度収支		¥0		

→ 予算案 承認

## 6) その他、報告～連絡事項

### ■ 会員証発行の廃止

#### 1) 現実に即し

- = 出場する大会の開催直前に入会するケースが非常に多く  
会員証の発行が間に合わないことが日常的になっている。
- = 会員証がなくても実務運用上、問題は起こりにくい。

#### 2) 発行に伴う負担をなくす

- = 発行、配布に費用＋作業負担がかかる。

### ■ 国内標準スタートスキームの変更

昨今の世界標準に合わせて、  
注意信号＝F旗掲揚を7分前とする。

→ 上記2案件について、承認。

### ■ 学生対抗マッチの案内（田代理事より）

## 2012年度 JYMA 理事の選任

名誉会長 小田切満寿雄

会長 戸谷壽男  
副会長 一木正治  
監査（兼務） 田代和史

理事 川崎芳徳、影山勝巳、田代和史、今津浩平、伊藝徳雄、  
佐藤麻衣子、横山浩、松石万希子、村越俊介  
佐藤夏海（新任）、長堀裕樹（新任）

退任 長堀信一、原 健

→ 承認

## その他、意見と調整事項

- \* 海外レースへの個人参戦はJYMAとしても歓迎するが、招待を受けた際には必ずJYMA会長にその旨、報告することを徹底して欲しい。(田代理事)
  - JYMA総会で定められたルールでもある。
  - JYMAと海外オーソリティとの円滑な交渉のベースになる。
  
- \* ワールドランキングにおける国内マッチのグレードを確認して欲しい。(本吉選手)
  - グレード4のはずが、5になっているケースが見受けられる。  
理事会経由でISAF担当者に確認連絡をとる。
  
- \* エントリーフィーの変動制を検討することで底辺拡大を図ることができないか。(長堀選手)
  - 長堀新理事を中心に小委員会を形成して検討に入る。
  
- \* 最低出場チーム数のガイドラインを策定すべきではないか。(村越理事)
  - 現状は、実行委員長の実験値と会長、会計担当にて判断しているがある程度、数値的ガイドラインを設けるべきではないか。
  - 各エリアにおける予算シミュレーションを行い、策定のための下資料作りに着手する。

以上